



住みやすい町を目指して... 56

稽古して、心身を鍛え、 明るい未来を築きましょう♡

勝広道場 剣道教士7段 すぎの きんいち 杉能 均一さん(神山在住)

私の剣道の始まりは、小学校時代のチャンバラ仲間と中学校の剣道部に入部したのがきっかけです。以来60年以上学んでいます。

【勝広道場の歩みと現状】

私が師範に就任した当時は数名の門弟でした。その後後援会が結成され徐々に門弟が増加し最盛期には70名程に増えました。「竹刀を自由に操作するには小学校3年生程度の体力が必要との理由からその学年にならないと入門させない。」等と入門条件を設けていました。が子どもの総数が減少したり、スポーツの種目が増えたことなどから現在は約30名と激減していますので指導法を工夫し幼稚園児でも大歓迎としています。そして現在は松田町スポーツクラブ勝広道場として、稽古会場を松田小学校体育館で月・木19:00～21:00で行っています。



宮崎 正裕先生をお迎えて

昨年3月に50周年記念事業として剣道全日本選手権において6回優勝された宮崎正裕先生、松田町町長、松田警察署署長をお招きして稽古会を行いました。

【剣道の特性・魅力】

特徴としては、正月の鏡開き、暑中稽古、寒稽古を行っています。鏡開きとは、無病息災を祈って会食し健康に稽古を続けられるようにと祈り、今年の各自の目標を発表して貰います。

稽古は、防具を付けているとは言え相手を竹刀で打つわけですから相手を尊重して特に礼儀を重んじ尊重するのです。剣道では、礼儀が身に付くので就職した際に好感を持たれますね。

暑中稽古、寒稽古は暑い時、寒い時を選んで稽古するのです。剣道は、近代スポーツと違い運動に適さない環境での稽古により心身を鍛えるためにこのような稽古が行われています。理由は、自分や自分の大切な人が暴漢に襲われた場合「今は暑いから、寒いから対応できない。」等とは言えないですよ。どんな環境であっても最善を尽くして切り切らねばならないですから。このような稽古で気力・精神力・体力が自然に身につきます。その結果健康も増進されます。

身長193センチで40代の会員もいます。75歳の私は163センチで30センチの身

長差があっても怪我することもなく楽しく稽古できています。又、私は就職した時は3段の県下で最低のレベルでした。その後諸先生・先輩のご指導を頂き60歳を過ぎてから県の代表選手として全国大会に4回選んで頂けました。60歳過ぎても実力が向上できることも魅力ですね。

追記：私は、朝夕秋田犬と散歩しています。いつでも気軽に声掛けしてください。大歓迎です。

住みやすい町を目指して活動されている方や団体で、このコーナーに寄稿して下さる方を募集しています。希望される方は下記までご連絡ください。

**令和6年 第1回定例会は
3月5日(火)開会予定**
ぜひ、傍聴にお越しください。
発熱等症状がおりの方は、ご遠慮ください。

議会広報広聴常任委員会
委員長 吉田 功
副委員長 武尾 哲治
委員 北村 和士
委員 中津川 定雄
委員 秋田谷 光彦
委員 平野由 里子

さて12月定例議会では
新入を含め10名の一般質問と、23議案の審議を行いました。議会広報広聴常任委員会では、より開かれた議会を目指し、分かりやすい編集を心がけていきます。今年もよろしくお願いたします。
(武尾)

令和6年、辰年の幕開けは能登半島地震が起り、心痛に堪えない年始となりました。一日も早い復興を祈念致します。松田町では2月3日より桜まつりを開催します。町一番の賑わいやアピールになるお祭りなので、滞りない開催を願っています。

